

会 議 概 要

会議の名称	平成27年度戸田市外部評価ヒアリング（中小企業の経営基盤の支援）
開催日時	平成27年11月19日（木） 10時40分 ～ 11時50分
開催場所	5階 大会議室B
出席者	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基 委員 引地 智宏 澁谷 久美子 地崎 由美子 西澤 和良 環境経済部 次長 菊池 利春 経済産業振興課 課長 中安 健二
事務局	経営企画課 早川課長 西口主幹 吉田主事
次第	1 開会 2 外部評価委員紹介 3 対象部局あいさつ 4 外部評価ヒアリング 5 閉会
会議の経過	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度施策評価シート ・平成27年度事務事業評価シート ・外部評価ヒアリング事前質問(回答)

議事内容	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 外部評価委員紹介</p> <p>3 対象部局あいさつ</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>●施策68 中小企業の経営基盤の支援</p> <p>○「事務事業の妥当性」について</p>
委員長	<p>それでは、「事務事業の妥当性」について、質問させていただく。</p>
委員	<p>行政評価シート「施策の指標における成果（主な指標）」の「戸田市商工会」金融・経営相談件数について、相談に来ている業種を教えてください。</p>
担当者	<p>金融・経営相談については、「戸田市商工会」にお願いしているところであり、具体的な業種については、把握していない。</p>
委員	<p>商業系と工業系では、ニーズが異なってくるので、それらをしっかりと把握した上で、「中小企業の経営基盤の支援」を実施することが必要である。</p>
担当者	<p>今後、金融・経営相談の多い業種についての把握に努めてまいりたい。 また、金融・経営相談の内訳については、後日、資料を送付する。</p>
委員	<p>金融・経営相談件数とあるが、目標値2,700件に対して、平成26年度は2,276件となっているが、そもそもこの目標値の設定は、相談件数を挙げることを目的としており、相談による効果などのアウトカムが見えてこないのではないか。</p>
担当者	<p>本指標は、行政評価シートだけを見ると誤解されやすいため、総合振興計画前期基本計画185ページを見ていただきたい。総合振興計画前期基本計画185ページの「指標の説明」において、売上減少や資金繰り困難な事業者数とあり、相談件数が増えれば良いというものではなく、2,700件を下回れば、指標が達成するということになる。</p>
委員	<p>金融・経営相談件数については、市内企業の総数が重要となるが、市内企業の総数を把握しているか。また、市内企業の総数が減ったことにより、金融・経営</p>

	相談件数が減少しているということはないのか。
担当者	具体的な数字が手元にはないところであるが、市内企業が大幅に減少していることはない。
委員	商工会の会員数はどのように推移しているか。
担当者	商工会の会員数の推移については、平成27年度2,663件、平成26年度2,641件、平成25年度2,654件、平成24年度では2,660件であり、大きな変化はない。 なお、個人事業主なども含めている国のデータベースによると市内企業件数は、5,260件である。
委員	金融・経営相談は商工会の会員を対象としていると思うが、「会員」以外の企業に対しては、相談業務を実施していないのか。 また、戸田市商工会の組織率は何パーセント程度か。
担当者	会員以外の企業も対象として、金融・経営相談を実施している。 また、戸田市商工会の組織率は54%である。
委員	会員以外の企業も対象として、金融・経営相談を実施しているとのことだが、会員でない企業は金融・経営相談の機会があることを知らない企業もあると思う。会員以外の市内企業が相談に来れるように周知に取り組むことも重要である。
担当者	会員でない企業は金融・経営相談の機会があることを知らないということは、多分にしてあり得ることである。 したがって、周知に関しては、会員以外の企業に対しても、メールマガジンを利用するなど、今後積極的にPRしていくことを予定している。
委員	会員でない企業も含めて、メールマガジンで周知するとのことだが、メールマガジンに登録してもらうことが大きな問題となる。どのようにメールマガジン登録数を増やしていく予定か。
担当者	メールマガジンの登録件数を増やすことは、大きな課題であると認識しているので、様々な方法を用いて実施していく予定である。
委員	様々な方法とは、具体的に何か。
担当者	現在、本市は起業支援セミナーなどを実施しているところであるので、そのセ

	<p>ミナーなど様々な機会を利用してPRしていきたいと考えている。</p>
委 員	<p>起業支援セミナー事業などについては、どの施策に属しているのか。</p>
担当者	<p>「施策66 新たな産業の創出支援」と「施策67 労働環境の整備」が該当する。</p>
委 員	<p>戸田市商工会に対する支援を補助金事業として実施しているようだが、実施された事業等に対して、行政として指導及び評価はしてきたのか。</p>
担当者	<p>これまでは、戸田市商工会の事業内容の報告だけを受けてきたところであるが、今後、実施された事業等に対して、検証も併せて行っていく予定である。</p> <p>なお、戸田市商工会の事業内容は金融・経営相談事業に加え、商いの体験事業、経営アドバイザー事業など、大きく分けて7つに分類される。</p>
委員長	<p>○「施策の進捗状況」について</p> <p>続いて、「施策の進捗状況」について、質問させていただく。</p> <p>委員の皆さん、質問願う。</p>
委 員	<p>戸田市商工会へ事業費補助を実施しているが、事業に対する補助率はどうなっているのか。</p>
担当者	<p>事業ごとに補助金割合を決めているわけではなく、全体として補助金を支出しているところである。</p>
委 員	<p>その方法を取ると事業費補助というよりは、運営費補助になるのではないか。</p>
担当者	<p>戸田市商工会に対しては、運営費補助ではなく、事業費補助という形式としている。</p>
委 員	<p>補助金という形を取るといっているのであれば、事業に対する評価・指導を必ず行うようにする必要がある。外部評価委員会のような組織を設置して適切に評価・指導してみてはどうか。</p>
担当者	<p>今後、適切に評価・指導できる方法を検討していきたい。</p>
委 員	<p>戸田市商工会は、県や市から補助金をもらっているところであるが、商工会は補助金をもらわなければ、運営が困難な状況にある。</p> <p>しかしながら、補助金に頼り続けた運営をしていくのではなく、補助金がなくても運営できるよう、経営改善に取り組んでいくことが必要であると感じている。</p>

	<p>行政もただ補助金を出すだけというのではなく、事業の費用対効果などを測定し、評価・指導を適切にしていきたい。</p>
委員長	<p>行政評価シート「結果と今後の方向性」の進捗状況を「B」と判断しているが、判断した理由が記載されていない。判断した具体的な理由はなにか。</p>
担当者	<p>施策の指標における成果の達成状況と経済状況が厳しいといった外部的な要因を加味して「B」と判断した。</p>
委員長	<p>行政評価シート「施策の指標における成果（主な指標）」の金融・経営相談件数の指標があるが、平成24年度までは減少傾向にあったのに対し、平成25年度から相談件数が増大しているのはなぜか。</p>
担当者	<p>平成25年度から戸田市商工会が積極的に会員数の増加に向けた勧誘を実施したことにより、相談する企業が増加したと考えられる。</p>
委員長	<p>指標の設定の仕方であるが、相談件数をアウトカムとするのは、指標として不適切ではないか。</p>
担当者	<p>指標の設定については、今後、検討する。</p>
委員長	<p>○「資源の方向性」 続いて、「資源の方向性」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。</p>
委員	<p>行政評価シート「結果と今後の方向性」の今後の方向性を「→」と判断しているが、融資額を増やさないと解して良いのか。</p>
担当者	<p>市の融資に加え、埼玉県での融資もある。埼玉県の融資のメニューは、充実しているので、企業のニーズを踏まえて、市独自のメニューの検討を進めたい。また、急激な経済状況の悪化もあるので、融資額の削減を行っていないところである。</p>
委員	<p>行政評価シート「結果と今後の方向性」の説明（人員/予算）の中に、職員の専門性向上という文言があるが、これは、行政が中小企業診断士などを雇うまたは養成するということか。</p>
担当者	<p>中小企業診断士といった意味での専門性ではない。ここで言う専門性とは、行政と商工会などが円滑に連携していけるレベルの専門性を意味するものである。 したがって、職員の専門性の向上とは、県の制度や市の制度を十分に理解し、商工会や市内企業を効果的に結び付けることのできる職員を育成することが該当</p>

	<p>する。</p>
委員	<p>商工会と言えば、商工祭が有名であるが、行政として商工祭へ関与はしていないのか。</p>
担当者	<p>市として、商工祭の後援という形式をとっており、まったく関与していないということではない。</p>
委員長	<p>○「その他意見」について 「その他意見」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。</p>
委員	<p>行政評価シート「結果と今後の方向性」の進捗状況を「B」としていることについて、それぞれの指標の推移等について、分析を行っているのか。</p>
担当者	<p>それぞれの指標の推移等については、従来不定期であった商工会との会議を定期的に行い、経済状況等の情報交換を実施することを検討している。 なお、現状では厳密な分析は行っていない。</p>
委員	<p>商工会との会議は、良い取組であるので、定期的に開催されたい。</p>
担当者	<p>現状では、半期に一度の期間で会議の機会を設けたいと考えている。</p>
委員長	<p>以上で外部評価ヒアリングを終了とする。</p>
	<p>5 閉会</p>